

# 自治会三三式

## 患者の与論から

### 生れた自治会

前記までの経緯

「手短して三週回経つたのだが、どうしよう」「君は、お天晴れかいる」「帰つても金はないし」「お君金はしつ返つて来るんだろ」「この自治会が病室の周りで交されるよ、にやつて」「専断と論じようがやるが」「患者の病室がきんが作つてからでないと交するものも及ぶやないか」「いや、その心算は最後でい、こ急げ争交渉しよう」「いや、まづ病室で急を」「てなことをなつたのは去る六月十日頃でした。そこで結構で動けずいながらも、分相を決めて、「声」を聞いて集めることにした。実行委員は、橋本、上水、高橋、伊藤（いずれも退院済）が王としてつこの旨の意見をまとめた。すると出たわく、大は吉君金調度から小は米代、又交代に至るまで、自治会委員の病室生活の話しを交して賛成を促さび纏つた。とこの六月十二日夜に、病院で、事務長、

発行委員  
中野新井町549  
院 会  
自 治 会

院長に病室の病室希望を述べ、承認した結果、病院側の承認により井の町は第一回の解決案を決定のである。

役員をすることによつて解決することになり、十五日には「患者自治会」の報告を回覧せり、任例的賛成のもとに専費六人の制度、大野屋二人、女子一、三階病室一、階下一、の別項規約の下で病室の「自治会」が出来上つた。

## 患者自治会役員

自治会役員は専任、石の力に力添して発行す。

- 滝井 正 (五号室)
  - 大野 義雄 ( )
  - 織田 英子 ( )
  - 赤崎 三光 (三階病室)
  - 児島 俊弘 (一階病室)
- このうち児島さんには会費を預積している他、専費の人達も専費の自由がきびしいので専費助成のことと懇話さんとの専費をたやうしていただいりあり。

## 自治会規約

- 一 当会は患者の病室を母かるともに入院中における健康、待遇、文化などの向上に資する。
- 二 手帳として発行
- 三 四号室三ノースの発行
- 四 院 会
- 五 病院側の懇談会、日最少一回
- 六 患者家来会
- 七 退院患者との懇談
- 八 その他患者同士の生活相談会
- 九 役員
  - 一 人数 専任の専任委員、大部室、二名
  - 二 任期 専任委員一年、大部室、一年
  - 三 選挙 専任委員は専任委員の推薦による
  - 四 専任委員は専任委員の推薦による
  - 五 専任委員は専任委員の推薦による
  - 六 専任委員は専任委員の推薦による
  - 七 専任委員は専任委員の推薦による
  - 八 専任委員は専任委員の推薦による
  - 九 専任委員は専任委員の推薦による
- 十 専任委員は専任委員の推薦による
- 十一 専任委員は専任委員の推薦による
- 十二 専任委員は専任委員の推薦による
- 十三 専任委員は専任委員の推薦による
- 十四 専任委員は専任委員の推薦による
- 十五 専任委員は専任委員の推薦による
- 十六 専任委員は専任委員の推薦による
- 十七 専任委員は専任委員の推薦による
- 十八 専任委員は専任委員の推薦による
- 十九 専任委員は専任委員の推薦による
- 二十 専任委員は専任委員の推薦による

日比谷公債の事

の争い

先日、私の地区代表が北区では日比谷公債の代表の南三に在る交渉から、区議会として正式に議決対策を採りあげることと決議し、ストマイ、パスの一時立替を区で負担することを極めて強く勧告して行った。

これは最近のニュースでも我々の白黒をどうも参考になるニコトスの一つだ。吉田ワソマンがやつた八十四億の実数は五の億は回収されるから三十四億の支出にしかならぬ。この議決対策費を「おふりだ」として先日通達になり、厚生省内務省に「おふりだ」として依頼調書の上げを求められたが、取組の毎でも其の金額百五十万人の救済のべりにある中で一万七千、東京府と東京都と千と聞いては、何れもがわらわら。

上体どうして心算が少く、何れもがわらわら。この議決対策費の金をよく見ると、中には一千万の巨額のものに達するものがある。何れもがわらわら。士業があつて「ハハ」と思つてゐる。何時の切符が日比谷公債に換算中の困難。此れが三十億円の予算と聞いては、何れもがわらわら。戦争により預金が起き、病人は殺され、人が失はれ

てゆく時、北区の様は近所隣りの結核患者が手を携えて医師や行政機関を味方につけて斗つてゆく必要を今更のように感じるので。

日比谷診療の記録から

五月始めに入院申込みをいつた。ところが今日再びやつて来た。五月に入院の願得が来たので通知を出しておいたのにその取返事がはね返っていた。退院したと云ふから最近の病院の様子を聞いて来たという。

五月頃に較べて患者の医療費負担が少なくなった。今迄はパス、マイシンを使う時は費用を承認されても、そのお金が出るまで三ヶ月かゝるので病人の財政難がひどい。それだけ、特に戦後赤の医療費で資金を使つてしまつたので、患者自身で資金を蓄つていた。輸血料も同じであつた。戦中病院では大手術をやるから二回の手術時の輸血を台せると四回五百円位の輸血代がゝる。その他に附添料の立替金など約一万円ほど必要。それが患者にとつて相当大きな負担にやつていたのである。患者自治会が六月に発足してから自治会の甲入りでこれらは徐々に改善されていつた。今ではパス、マイシンの立替えは無理でない人の他は病院として負担する事になつた。治療材料券さえ削減は医療保護の人の輸血料は輸血協会が立替える事になつた。附添料は病院として立替はしないが附添金に替つて貰い、その間に附添さんが困つたら病院がお金を貸すと云ふ形になつた。こういう事が決る前にも事実上は附添の立替えられぬ患者さんは殺人の代りだつたが……

○さんは用を頼みして今日はやつて来た。それはどういふ節を部分的にはあつたが、皆さんに聞いて来たからであつた。

手術を受けようとする患者さんにとつてこれ迄にあつたようが二万円を上廻る立替金は唯かに大きき負担であつた。○さんが入院通知を受けると、病に思ひ懸つたのは、同全く経済的事柄だけであつた。資金があつたが入院を断念した。然し三ヶ月の間に患者自治会の協力を得て、病室の設備を整へ、病室を再び入院申請された。○さんは病室の設備を整へて貰つていつた。見送り派は私は自治会の仕事が大変な意味をもつた。云ふこと、全時に病院が正しい意見を述べるために自治会と云ふ組織がどんなに大きく立つてゐるか、手を改めて考えさせられた。



▽ 病診は相変わらず定らぬ、日曜の夜すら夜でさうとやつて可い。

▽ 永代五頁(ハ)一頁(ハ)十一頁(ハ)は病院負担と定つて前よりも良いが米を使わないのに五十五円もらうのも変だ。使つた米はインキにするので可いから、いつて病院で全部負担するのが本当に可い。

▽ 西に鎌倉病院だが「ペニリン」三〇万単位以上は自己負担せよ」とは不立派だし、手術して五〇万円入る方は運命に任せておくれ、たとえ社会保険として許可なくとも何等かの名目で医療費としてとわなないところが。

▽ 輸血代の立替もどうだ、マイシンの仕替と同様病院がこの操作資金を解決してほしい。

▽ 後援協賛は定期的によつてもらいたい。

▽ 退院後の看護听えの積極的幹事は自治会でもかを入れないが病院としても強いのり出してもらいたい。

▽ 病室の消毒を定期的によつてもらいたい。

▽ 水糞をてを病室に掃きつけて出してもらいたい。

回 答

各連の声について病院側から次の様な回答がありました。

▽ 輸血代は今度から國庫医療協会というところへ民生より確保せよからお金が出る迄待つてくれることになりました。但しこの場合民生の方は治療材料費を事前に立てる。この確保の方は何等かの形で確實に血液料が組合から出たら支払うという証書を残していただきます。同なりませんが、民生の方の場合には病院別に支払われるので問題がありませんが確保の方は早くに支払われるのでこの辺の技術的商議で解決すべきは輸血料の自費の心配はいわなくないかと存じます。

▽ 後援協賛は病院としても積極的にやり出すことになりました。そのために検査部に専用と云う青年が入りました。結核研究所に通つて勉強をして腕をならして待つてくれるので、昨卵器水出さないために打針の腕を振つて水出さない。卵甲器が出来るまでくまらうし少しお待ち下さい。

あとの回答はまた戻つて……

T・Bのねがい



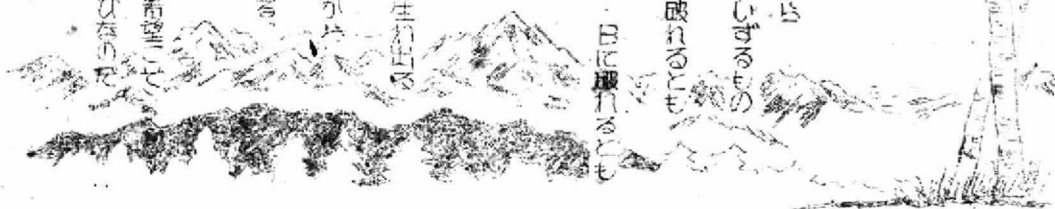
紫雲をと思ふけれども  
私の足はたい。紫雲。たちは  
この世に過ぐるつてきた  
もうえるお金回りをかきい  
値段はやはり背のびをする  
下・日の友だちたち  
君は抱えていて。物語。を考え  
かびえるより此で  
あごをなげるといふが  
君の心はみんなの心だ  
弟もあつた。紫雲もあつた  
レーヨン。スツがさびつたよ  
私たちが心はあつたよ  
頭をとるには。鉄と油、がいるのに  
。鉄。たうや。油。たちは  
鼻赤たやけてはけりた  
人妻の悲しむりなうで  
はるか空にきえてゆく  
空しき、変しぬ  
もらえるお金で買える水  
さよやがて下・日のねがいを  
私たちがはつきりと言おう  
(K)

自由詩

希望



希望は苦しみの中から  
 泉のようにわきあがるもの  
 苦しみの中から  
 希望が生か出る  
 苦しみの中から  
 希望が生か出る  
 苦しみの中から  
 希望が生か出る



自治会員名簿

- 一宮室 宮城秀友 中野区 塚田庄吉 新宿区
- 二宮室 弥吉三九 古田台区 前沢宮内 大塚区
- 三宮室 田村辰男 大野慈造 立川市
- 四宮室 石井房子 中野区 織田英子 新宿区
- 水沼啓子 北区 本村純子 板橋区
- 伊藤刀男 玉代田区 龜田庄之助 台東区
- 竹内経夫 豊島区 高井止 山手区
- 鈴木利夫 杉並区 松宮三郎 中野区
- 西村輝 千歳区 定藤定義 中野区
- 岡助一 前野区 天崎益夫 中野区
- 尾崎弥生 足立区 長嶋幸知子 新宿区

（編集後記）

八宮室 小野塚家太郎

清水道雄 文京区西荻合二丁目六

土宮室 池島俊弘 古田・谷区三軒茶屋二四

俳句 田村辰男

つりつりの雪ぐさ入もある春雨が  
 また今日もひでりのさきかぜの中  
 手鏡につけてはめる窓の向  
 あめくすりこのくすりより母の愛

編集後記

自治会が発生してからもう三ヶ月の日が過ぎて  
 しました。自治会が「文」の形式で二回出たことになり  
 ました。これは、第一回は向形形式で出したことが、  
 第二回は、編集後記が載ったので、これにて編集後記  
 が載ったことになりました。これが大きな喜びであつた。  
 第二回は、編集後記が載ったことになりました。  
 第二回は、編集後記が載ったことになりました。  
 第二回は、編集後記が載ったことになりました。

（編集後記）